

新年を迎えて

校長 萩谷 英明

皆さん、こんにちは。

令和4年が明けましたが、皆さんそれぞれがよい年を迎えたことと思います。3年生の皆さんは高校生活も残すところわずか3箇月となりました。1、2年生の皆さんも含め、光陰矢の如しというように時間の進みの速いことを意識して、毎日を大切に過ごしてほしいと思います。

ところで、皆さんは「Z世代」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。「Z世代」とは、皆さん自身の世代を表す言葉として、最近よく耳にするようになりました。

社会は常に変化しています。その変化は人々の考え方や行動パターンに影響します。そして、社会が大きく変わるとき、その変化を体現していく人々に名前が与えられます。

私の世代は「新人類」という名前と呼ばれました。年代でいうと1950年代から1960年代に生まれた人間で、モーレツ社員とも呼ばれた上の世代の企業戦士たちが高度成長期を支えて日本が経済的に豊かになり、その豊かさを基に自由で新しい文化を創っていった世代です。

では、皆さん「Z世代」とはどのような世代なのかというと、1990年代から2010年代に生まれた人々で、デジタルネイティブ、多様性の受容、地に足が着いた経済感覚といったことなどが特徴だと言われています。

現代社会は、ITリテラシーが必須の能力となり、グローバル化によって様々な人や物と共生・共存していくことが当たり前のこととされます。こうした社会変化に上手に順応できるのが皆さんの世代です。

このように、各世代は新たな社会を牽引していくわけですが、逆にネガティブな面も指摘されます。我々「新人類世代」は、それまでの重厚長大な文化に対してマンガ・アニメ、ゲーム、ポピュラーミュージックを創作・享受してきましたが、そのことが軽佻浮薄であると批判されました。しかし、こうしたサブカルチャーは、今やクールジャパンとして世界から注目を集めるようになりました。

同じように、「Z世代」は現実世界における積極性や意欲に欠けるという批判を受ける向きもあるようですが、ネットを活用して真偽や価値を確かめ、本当に自分が必要としている物事に限られた時間や金銭を使うことで、自分の身の丈に合わせて生活を豊かにするという「Z世代」の行動パターンは、これから非常に重要になってくるでしょう。

皆さんの後の世代は、「コロナネイティブ世代」と呼ばれるかもしれません。コロナ禍で様々な社会活動や経済活動が抑制されていることがスタンダードだと捉える、いや抑制されているという意識がない「コロナネイティブ世代」には、皆さん「Z世代」の生き方がベーシックとしてリスペクトされるかもしれません。

では、第6波が危惧される状況ですが、コロナに負けず、この1年もしなやかに過ごして行ってください。